

2019 年（令和元年）10 大ニュースを選定 ～市政を中心として～

年末にあたり令和元年の 10 大ニュースを選定し、市民の皆様とともに進めてきたまちづくりを振り返ります。

（時系列順）

1 三木市ホームページをリニューアル（3 月）

～より使いやすく、より分かりやすく～

近年、利用者が増えているスマートフォンやタブレットからの閲覧に対応できるよう、3 月 4 日に 15 年ぶりとなるホームページのリニューアルを行いました。

新しいホームページでは、アクセスが集中する災害時にトップページを災害用トップページに切り替えられるなど、タイムリーな情報発信ができるようになりました。

2 ゴルフ場におけるドクターヘリ運用の覚書を締結（4 月）

～ドクターヘリをゴルフ場へ迅速に～

市内ゴルフ場で発生した救急事案に対し、円滑な救急・救助活動を実施し、早期に適切な医療を提供することにより、救命率及び社会復帰率を向上させることを目的とし、4 月 1 日に締結しました。

ゴルフ場コース内へ迅速にドクターヘリを誘導できるよう、出動要請、着陸場所の選定、安全確保等について運用を定めました。

3 2020 年東京五輪・パラリンピック代表選手団が事前合宿を実施

（4 月～、8 月）

～トップアスリートと市民が交流～

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、フランス陸上競技選

手団が、三木総合防災公園陸上競技場において4月25日から5月9日までの15日間、ネパールテコンドー選手団が、三木ホースランドパーク及び三木山総合公園総合体育館において8月5日から11日までの7日間、それぞれ事前合宿を実施されました。

合宿期間中には市民がトップアスリートを身近に感じられるイベントとして、陸上教室やテコンドー体験会などを開催し、代表選手と交流を深めました。

4 三木市制施行 65 周年 (7 月)

～記念表彰式で功労者を表彰～

昭和 29 年に三木市が誕生し、その後、平成 17 年の吉川町との合併を経て、記念すべき令和元年に 65 周年の節目の年を迎えました。7 月 7 日の記念表彰式では自治、産業、教育文化、社会の各分野で、62 名、6 団体に対し表彰しました。

- (1) 三木市選奨規則による表彰 7 名
(自治功労 2 名、産業功労 2 名、教育文化功労 2 名、社会功労 1 名)
- (2) 三木市市民表彰規則による表彰 55 名、6 団体
 - ・ 市政功労者表彰 55 名
(自治功労 17 名、産業功労 7 名、教育文化功労 17 名、社会功労 14 名)
 - ・ 善行者表彰 6 団体

5 子ども家庭総合支援拠点を設置 (7 月)

～児童虐待の防止と対応を強化～

児童虐待の発生防止と対応を強化するため、身近な場所で子どもやその保護者に寄り添い、相談や調査、支援などを行うとともに、市内全ての学校・園や医療機関、子育て世代包括支援センターなどと綿密な連携を行う「子ども家庭総合支援拠点」を7月1日に整備しました。

6 三木ホースランドパーク入園者 500 万人を達成 (9 月)

～ソメイヨシノの記念植樹を行いました～

平成 11 年にオープンし、令和元年 9 月 28 日に 500 万人目の来園者を迎えました。500 万人目に来園された神戸市西区の親子に認定書や記念品が贈られました。

7 市内全ての学校にタブレット計 1,140 台を導入 (10 月)

～教育現場のデジタル環境を整備～

市内全ての小・中・特別支援学校へ計 1,140 台のタブレットを 10 月 1 日までに導入し、教育現場の ICT 環境を整備しました。10 月から各学校で効果的な活用を研究・実践し、子どもたちの学ぶ意欲を高めながら、分かり易い授業づくりに努めています。

また、今回導入したタブレットには文字の形が分かりやすく、読みやすい「UD（ユニバーサルデザイン）フォント」を市内の自治体で初めて採用しました。

8 学校再編の実施方針を策定（10 月）

～よりよい教育環境を目指して～

令和元年 10 月 3 日に教育委員会において、「三木市立小中学校の学校再編に関する実施方針」を策定しました。

【内容】（抜粋）

児童生徒数の減少が著しく、教育活動に制限が生じている志染中学校、星陽中学校、吉川 4 小学校の統合を決定しました。

また、小学校段階と中学校段階の 9 年間を見通し、一貫して教育を行う小中一貫教育を行う学校への再編に向けた研究を進めることとしました。

令和 3 年度に統合する、志染・緑が丘中学校区と吉川の小学校区において、統合準備委員会をそれぞれ立ち上げ、統合に向けて具体的な準備に取り掛かりました。

9 三木金物まつりを三木山総合公園で開催（11 月）

～11 月 2 日、3 日の 2 日間で 16 万 8 千人が来場～

三木金物まつりのメイン会場を三木山総合公園へ移転しました。

金物の展示販売や金物鷲の展示、古式鍛錬の実演、農業祭のほか、メインステージではダンスや和太鼓等が披露されました。市内各所でも様々な協賛イベントが催され、市内外から 16 万 8 千人の来場者が訪れました。

10 三木市総合計画を策定（12 月）

～「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現をめざします～

本市では、20～30 年先の未来を見据え、今後 10 年間の市のめざす将来像や目標を明らかにした市政の羅針盤となる「三木市総合計画」を 12 月 20 日に策定しました。

この計画は、基本構想及び基本計画で構成されており、まちの将来目標（「誇りを持って暮らせるまち三木」）を実現するため、具体的な方向性や指標及び目標値などを定めたものです（計画対象期間：令和2年度～11年度）。

今後も続く人口減少を現実として受け止めつつ、将来にわたりまちの活力を保ち続けるため、チーム三木（市民、議会、企業、団体、行政）による協働のまちづくりを推進します。

問い合わせ先 三木市総合政策部秘書広報課広報広聴係
電話 0794-82-2000（内線 2308・2414）